

自主防災組織の活動

日常の活動

情報連絡網をつくる

もしものときにいち早く情報を伝えることができるように、地域の情報連絡網を整備しましょう。

防災マップをつくる

地域の地図に避難所や避難ルート、川や崖などの危険箇所を書き入れます。また、消防署や交番、市役所などの緊急連絡先も記入しておきましょう。

危険箇所や防災点検を行う

大雨のときに氾濫しそうな河川や水路はないか、地震の時に崩れる危険性のある崖や塀などはないか点検しておきましょう。

防災資機材を共同保有する

メガホンや携帯ラジオ、懐中電灯、消火器、ヘルメット等防災用の資機材を地区公民館などに備え付けましょう。

防災だよりをつくる

地域の防災に関する話題や対策、市からの防災関連情報など身近な話題を中心とした防災だよりをつくりましょう。

防災講演会、救急講習会を開催する

講師は消防署の職員ばかりではなく、電力会社やガス会社の職員、医師、建築の専門家、大災害の経験者などいろんな人を招いて講演会等を開催しましょう。

防災訓練を実施する

いざという時にあわてないために防災訓練を実施しましょう。情報伝達訓練や避難訓練、初期消火、炊き出し、応急手当訓練などがあります。

災害時の活動

火事の場合

消防車などが到着するまでの間、初期消火などを行きましょう

- ・無理のない範囲での初期消火
- ・119番への通報
- ・消防車や救急車の誘導、やじ馬などの交通整理など

台風や大雨などによる災害の場合

地域住民を安全な場所に避難誘導しましょう

- ・災害が予想される場合は、早めに集団で避難する
- ・住民を避難所など安全な場所へ誘導する
- ・災害時要援護者の補助を行う

地震などの大規模災害の場合

救助機関が到着するまでの間、力を合わせて助け合いましょう

- ・被災した人の救助や安全な場所への避難誘導
- ・けがをした人の応急処置
- ・被災状況を収集し、行政に正しい情報を伝える。